

この4月、港区に誕生した『芝地区総合支所』が独自に発行する地域情報誌の創刊号をお届けします。芝地区総合支所は、芝地区の『いい話』を紹介したり、さまざまな行事や活動の情報を交換し、区民の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として地域情報誌を発行します。

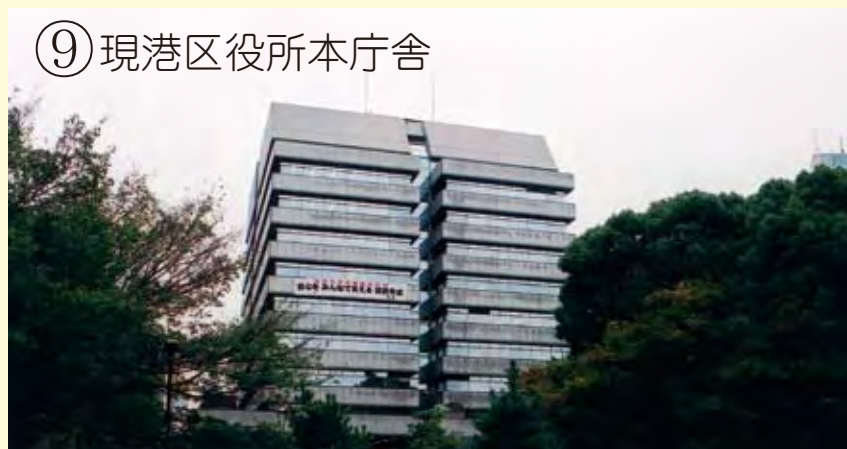
地域の皆さんとともに創る情報誌です。



旧庁舎



⑨ 現港区役所本庁舎



表紙の写真①～⑨それぞれ何の写真でしょうか。答えは記事の中！

芝地区地域情報誌は、芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設にて配布しています。



⑤ まちの人のお話 地元のおつきあいを大切に ～愛宕2丁目～

NHK放送博物館 中田 薫 館長

N H K放送博物館は、ことし開館50年を迎えました。3月3日の記念日を中心に開催した「みなさんとともに50年」記念イベントでは、港区生涯学習センター「ばるーん」の皆さんの参加を得て、にぎやかに楽しく「放送のふるさと」＝愛宕山の歴史を振り返ることができました。

博物館ではここ数年、とくに地元の方々と語り合うトークショーに力を入れています。芝愛宕の今と昔をテーマにした「この街くらしを語る」では、5カ月にわたり町内各世代の方に出演をお願いし、貴重なエピソードの数々を披露していただきました。その後「放送80年記念トーク」「ドキュメンタリーとはなにか」など放送にまつわる話題を取り上げてきましたが、客席からの気軽な質問や発言など、地元の皆さんからはいつも力強いサポートをいただいています。

お正月は初詣のお客さん、5月は放送と連動した「愛宕山芸能祭」の薪能。ほおづき市の日には、植木鉢をぶら下げた浴衣姿のお嬢さん。そして「出世の石段」を神輿が登る愛宕神社の秋祭り、と、地元のおつきあいは年じゅう絶えることがありません。

愛宕山の緑陰をのぼるとそこは放送のふるさと……。懐かしいラジオやテレビ、戦前・戦後の番組の数々、時報や効果音の仕組み、アナウンサーやカメラマンの体験コーナーなど、様々な展示が皆さんをお待ちしています。ぜひ気軽にスタッフに声をおかけください。あの日あの時の放送を、と一緒に語り合いましょう。



③ 銀杏稲荷大明神 ～三田1丁目～

三田一丁目にひっそりとたたずむ、大きな銀杏の木と神社があります。その名も銀杏稲荷大明神（白瀧大神）。今は大きなイチョウが一本すくと立ち、祠がまつられていますが、かつては二本のイチョウが互いを見つめ合うように大空へ伸びていました。

二本の銀杏は、それぞれ白瀧大神という女の神様と、権太夫大神という男の神様が宿るご神木。権太夫大神の祠は、東京市が市電を通す際、お祓いをせずに撤去され、ご神木は切られてしまいました。その銀杏を運んだトラックが事故を起こしたり、近所の人たちが病気になるたり……。そこで、地域の人が協力して銀杏講を作り、京都の伏見稲荷をお願いして、再び権太夫大神を三田の地に迎えることができました。一本は街角に、もう一本は元神明宮境内に。二本の銀杏の木は、いまでも仲良く三田の地域を見守っています。（元神明宮宮司さんのお話から）



⑨ 芝地区総合支所 オープン！よろしくお願いします

～芝公園1丁目～



この4月、港区の組織が大きく変わりました。従来の支所を「総合支所」として地域の拠点としての機能を強化し、区民の皆さんと協働して、地域の課題は地域で解決できるようにするとともに、身近な総合支所で多様なサービスが提供できる体制を整えました。

また、これまでは区役所（本庁）が担当していた芝地区にも、新たに「芝地区総合支所」を配置しました。芝地区総合支所の場所は、区役所本庁舎の1・2階になります。

芝地区総合支所
井伊支所長

＜くらし応援課（1階）＞……………

主な仕事→ 住民登録、印鑑登録、戸籍の届出の受付、外国人登録の証明書発行、区民税の申告受付、納・課税証明書の発行、高齢者の保健福祉、医療助成、保育園の入所手続き、ひとり親家庭等医療費助成、身体障害者手帳、健康相談、飼い犬の登録、各種生活福祉 等

＜地区活動推進課（2階）＞……………

主な仕事→ 地域振興や地域の防災に関する行政サービス、環境美化、リサイクル活動、地域内の道路・公園等の維持管理、地域内の施設（芝保育園・芝公園保育園・芝児童館・新橋児童館・芝公園児童館・芝公園福祉会館・三田福祉会館・新橋福祉会館・桜福祉会館・西桜福祉会館）の管理運営・施設計画 等



齊藤課長



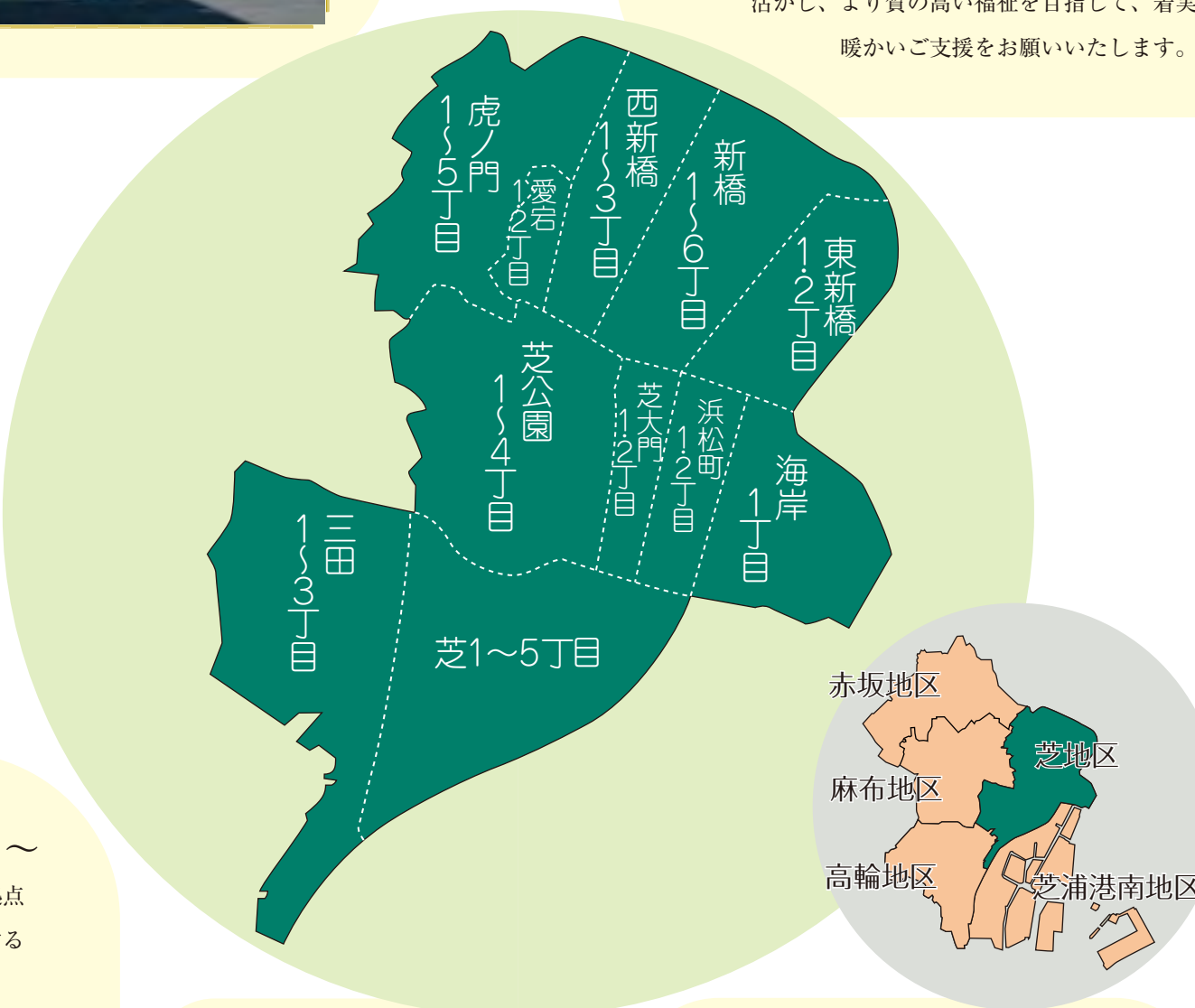
藤春課長

＜地区政策課＞……………

（2階；統計調査係は西新橋・旧桜小学校内）
主な仕事→ 地区の政策づくり、まちづくりの相談、地域情報誌の作成、情報公開に関すること、区民からの意見・要望等の受付、区としての各種統計調査

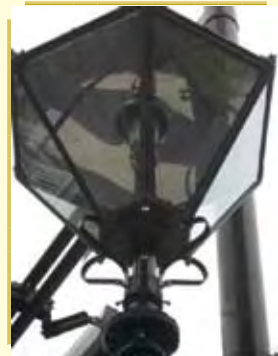


横山課長



④ まちのガス灯 ～大門交差点～

大門の交差点に、ガス灯があるのをご存知ですか？街並みに埋もれてしまいましたが、ちょっとレトロな趣を感じさせてくれるガス灯が4基。地元商店街である大門振興会から、平成13年に区が寄付を受け設置されました。現在もガスの光で人々の行きかう夜道を照らしています。



⑧ 「桜川」から「さくら川」へ ～新橋6丁目～

明治6年（1873）に創立され、平成6年（1994）閉校まで地域の皆様に愛されてきた桜川小学校が、「福祉プラザさくら川」として生まれ変わりました。

＜施設紹介＞「福祉プラザさくら川」には『特別養護老人ホーム・新橋さくらの園』『介護老人保健施設・新橋ばらの園』『知的障害者更正施設・新橋はつらつ太陽』の三つの施設があります。1階には『喫茶・ショップ』『ギャラリー』があり、どなたでも気軽に立ち寄っていただけるようになっています。また、旧桜川小学校の歴史を語る『桜川小学校記念コーナー』が2階図書室内に設けられ、構内の『記念緑地』には桜、月桂樹とともに校名石、少女ブロンズ像が飾られています。

＜長岡福祉協会・田宮崇理理事長のお話＞福祉プラザさくら川は、長岡福祉協会が新潟県外最初の施設です。経営理念であります『自分や家族、親しい友人が利用したいと思うサービスの提供』を目指しています。情報の発信地である東京都心の中で、長岡での自然に恵まれた感性と経験を活かし、より質の高い福祉を目指して、着実に歩みを進めて参ります。地域の皆様の、暖かいご支援をお願いいたします。



① 歴史的たてもの 堀商店 ～新橋2丁目～

新橋駅のすぐ近く、昭和8年に建てられ戦火を逃れ今なお現役の建物があります。明治23年創業、建築金物や錠前を扱う堀商店さん。重厚な作りは、関東大震災後の昭和初期の建築を良くあらわしています。この建物、出来た当時には玄関の階段はなかったとか。もともとは海の近くで地盤が弱いせいか地下鉄工事のためか、原因ははっきりとはしないけれど、時を経て、周りとの段差が広がり階段が設置されたとのこと。地下に残る井戸の跡で赤穂浪士が討ち入り後に水を使ったとか、二・二六事件では塔屋が物見に使われたとか、戦争時には不発弾が屋上に落ちてそれを処理したとか逸話はいろいろ。歴史とともに歩んできた建物です。



昭和8年撮影の写真



現在の堀商店

⑦ S L 広場が新しくなりました！

新橋駅西口広場（S L 広場）が新しくなりました。広場には保水ブロックを敷き詰め、雨水を使っていつでも打ち水をした状態に……。ヒートアイランドに効果的です。噴水と母子像は、S L 機関車横に移動しました。光ファイバーによるライトアップも行われます。新しくなったS L 広場、ぜひ足を運んでみてください。



⑥ まちの人のお話

なかさんさん じ かい
大門 中三三治会・菊嶋 宏 会長

芝中門前町といわれていた芝大門2丁目界隈。バブルの頃から、町会の人々が次々と引越しをしてしまいました。それでも、先代から住んでいる方も多く、幼馴染の顔がまだたくさん住んでいます。しかし、高齢の一人暮らしが多くなったようです。静かに暮らしたいと思っていたときに、強度偽装で倒壊のおそれがあると指摘されたマンションが、町会内にあって驚きました。マンションの解体作業中に地震で倒壊した場合の対応や作業中の騒音など、近隣住民の方々と協力し意見をまとめ、業者に申し入れを行いました。この件を通して、近隣住民とも一層結束が強くなったと感じています。

まちの人のお話～番外編～

新潟の中学生
新橋二丁目烏森町会・丸 哲夫 町会長
にインタビュー

総合学習の一つとして、「都会の近所付き合い」について調べている、新潟市立小新中学校の生徒が、修学旅行中に、新橋二丁目烏森町会・丸哲夫会長にインタビューしました。緊張しながらのインタビューに、丸会長は、「このあたりは住んでいる方は一割くらいです。通ってきて商売をしている人が多いです。住んでいる人は高齢者が多く、町会の人たちが協力しあって生活しています。」と話していました。東京のラッシュアワーを体験しびっくりもしていた4人、よい修学旅行になったでしょうか。お疲れ様でした。



芝地区のこと、考え、話し合い、行動しよう！！

芝会議に参加しませんか？

今年４月にスタートした芝地区総合支所では、芝地区に住み、働き、学び、つどう皆さんとともに芝地区の魅力や課題について、考え、話し合い、行動する場として「芝会議」を設置します。そのメンバーを下記のとおり募集します。

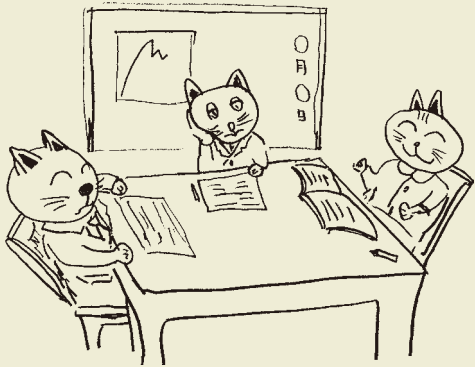
募集対象 芝地区に在住・在勤・在学の方
芝地区のために活動している方・したいと考えている方

募集人数 約２０人

話し合う内容 ①芝地区独自の新規事業の立案・検討 ②地域情報誌や地域情報番組の企画・制作
③その他、芝地区の魅力発掘や課題解決策など

会議の開催 平日の夜間など月１～２回程度 ※報酬・交通費の支給はありません。
※保育、手話通訳等を希望する方はご相談ください。

応募方法 住所、氏名、職業（学校名）、電話番号と、芝地区について思うこと（２００字程度）を記入のうえ、持参、郵送、ファックスまたは港区ホームページ（<http://www.city.minato.tokyo.jp>）から、６月２０日（火）までにお申し込みください。（様式は自由です。）



《芝地区 これからの予定》

新橋こいち祭

7/20（木）・21（金） 12：00～21：00 新橋駅前西口S L広場他

町ぐるみ三田納涼カーニバル

7/22（土） 17：30～21：00 札の辻交差点～三田二丁目交差点

'06芝ちびっ子ふれあいフェスタ

8/5（土） 17：00～21：00 芝新堀児童遊園

夏祭り（納涼祭）

8/26（土）（予定） 芝高齢者在宅サービスセンター

港郷土資料館テーマ展

「港区の近世遺跡－最近の発掘調査から」 4/1～9/30

海を渡った江戸東京の風景

～ヨーロッパに眠っていた古写真より～ 7/1～9/30

児童館まつり

6/28（水）芝公園児童館

9/9（土）新橋児童館

10/14（土）芝児童館

打ち水大作戦

今夏も実施予定！



意見募集

芝地区地域情報誌では皆さんの情報をお待ちしております。芝地区についての「思い出やエピソード」、「お気に入りの場所」「街のいい話」等がありましたら、教えてください。寄せられた皆さんのご意見を誌面に生かしていきたいと思えます。住所・氏名・年令・電話番号を明記のうえ、郵送・ファックス・持参にて、ご応募ください。（匿名・ペンネームでの掲載も可能ですが、その際も氏名・連絡先は必ず記載してください。）

芝地区の昭和30年代の写真募集

芝地区総合支所では、オープニングイベントに引き続いて、昭和30年代をテーマにした写真展示等を実施する予定です（9月を予定しています）。その頃の芝地区の風景や生活振りを写した写真をお持ちの方はご連絡ください。ご協力お願いいたします。



<証明書自動交付機のスズメ>

支所の窓口が大変混雑し、ご迷惑をおかけしております。住民票などの証明書については、自動交付機もご利用いただけますので、ご活用ください。利用には自動交付機カードが必要です。※証明書発行にあたっての手数料は５０円安くなります。

自動交付機で受け取れる証明書

- ・住民票の写し（全部・一部）※外国人の記載事項証明書は現在開発中
- ・印鑑登録証明書（日本人対象）※外国人のためのシステムは現在開発中
- ・戸籍（全部・一部）事項証明書（戸籍謄本・抄本）
※港区に住民登録と本籍のある人が対象になります

カードを作る人

１５歳以上の区民

自動交付機カードの種類

- １．自動交付機カード
- ２．自動交付機カード／印鑑登録証
- ３．住民基本台帳カード（住基カード）

（注）カード作成に必要な書類や手続きは、作りたいカードの種類・現在お持ちのカード・印鑑登録の有無によって異なりますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

１．の自動交付機カードについては、運転免許証・パスポート・住民基本台帳カードなど顔写真付の公的身分証明書をお持ちいただくと即日発行できます。

自動交付機設置場所

各地区総合支所・台場分室

利用できる時間

平日（月～金）	８：３０～２１：００
土・日・祝日・年末（１２／２９～３１）	９：００～１７：００
年始（１／１～３）・施設点検日	利用できません

※施設点検日は施設により異なります

問い合わせ先

芝地区総合支所くらし応援課窓口サービス係

TEL 3 5 7 8 - 3 1 1 1（代）

連絡先・問い合わせ先

〒105-8511 港区芝公園1-5-2 5

港区 芝地区総合支所地区政策課（港区役所２階）

TEL 03-3578-3191

FAX 03-3578-3180

HP: <http://www.city.minato.tokyo.jp>

